

阪南市埋蔵文化財報告 55

鳥取南遺跡発掘調査報告書

90-1区・14-2区

2 0 1 6 年

阪南市教育委員会

はしがき

阪南市は北に大阪湾を隔てて淡路島を望み、南は和泉山脈を越えて和歌山県にいたる、大阪府下でも自然豊かな立地に所在しています。

高度成長期に始まった開発の波による自然破壊と共に、多くの遺跡が消滅していく中で、本市教育委員会では昭和60年度より発掘調査を続けてまいりました。その結果、これまでに貴重な資料を得ることができ、地道な作業の積み重ねで、地域に新しい歴史の発見がありました。

本書は阪南市鳥取において平成2年度及び平成26年度の二回に渡る開発工事の事前調査として実施した鳥取南遺跡の発掘調査報告書です。今後、多方面においてご活用いただけるよう願っております。

最後になりましたが、発掘調査にあたり、ご協力いただきました土地所有者並びに関係者各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成28年3月31日

阪南市教育委員会



第1図 大阪府阪南市位置図

例　　言

1. 本書は、大阪府阪南市鳥取所在の鳥取南遺跡発掘調査報告書である。
2. 調査は、阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進室三好義三、田中早苗、上野　仁、須崎雄一朗(嘱託)を担当として行った。
3. 発掘調査について、09-1区は平成2年度に田中早苗が、14-2区は平成26年度に須崎雄一朗が実施した。
4. 本書内で示した標高はT. P. (東京湾平均海面)を基準としている。
5. 発掘調査にあたっては土地所有者をはじめ、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
6. 土層の色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修 小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』(2000年版)を使用した。
7. 本書における記録は実測図、写真、カラースライド等で保存し、当委員会にて保管しているので、広く活用されたい。
8. 本書の執筆、編集は上記の調査担当者が行った。
9. 発掘調査および整理作業に以下の方々の参加を得た。

和田旬世、井上祥子、井上　進、島田万帆、中村淳二、西畠昭男
上久保健吾、小林克子、沼口さおり、門谷由春、後藤未有希

目 次

はしがき

例言

目次

第1章 歴史的環境と調査に至る経過

　第1節 歴史的環境 1

　第2節 調査に至る経過 4

第2章 調査の成果

　第1節 90-1区 7

　第2節 14-2区 14

第3章 まとめ 19

報告書抄録

1	堺	寺	道	跡
2	平野守	城	寺	跡
3	玉	田	池	古
4	五	田	山	遺
5	玉	田	山	跡
6	七	寺	田	遺
7	桑	烟	石	跡
8	桑	煙	石	跡
9	石	田	山	遺
10	鐵	道	跡	跡
11	鐵	道	跡	跡
12	黑	田	北	遺
13	龜	川	遺	跡
14	三	本	松	東
15	水	附	道	跡
16	貝	塚	道	跡
17	水	道	跡	跡
18	神	光	寺	遺
19	水	道	跡	跡
20	神	光	寺	遺
21	田	山	西	遺
22	田	山	遺	跡
23	御	御	文化	遺
24	御	作	今	遺
25	茶	園	道	跡
26	圓	鷗	道	跡
27	山	中	深	石
28	道	谷	道	跡
29	稻	作	稻	道
30	十	師	道	跡
31	稻	作	稻	道
32	玉	田	山	道
33	自	能	道	跡
34	井	開	道	跡
35	自	能	道	跡
36	福	島	道	跡
37	福	/	善	道
38	金	剛	寺	道
39	馬	川	道	跡
40	内	堀	道	跡
41	下	出	北	遺



第2図 阪本市埋蔵文化財分布図

第1章 歴史的環境と調査に至る経過

第1節 歴史的環境

阪南市は大阪府の南部に位置する面積約36.10㎢の市で、市域の約60%を山地が占める。北部は大阪湾に面し、南部は和泉山脈を境として和歌山県に接している。山間部には和泉砂岩の石切場が残り、和泉山脈から流れる河川によって形成された平野部には、多くの遺跡が所在している。

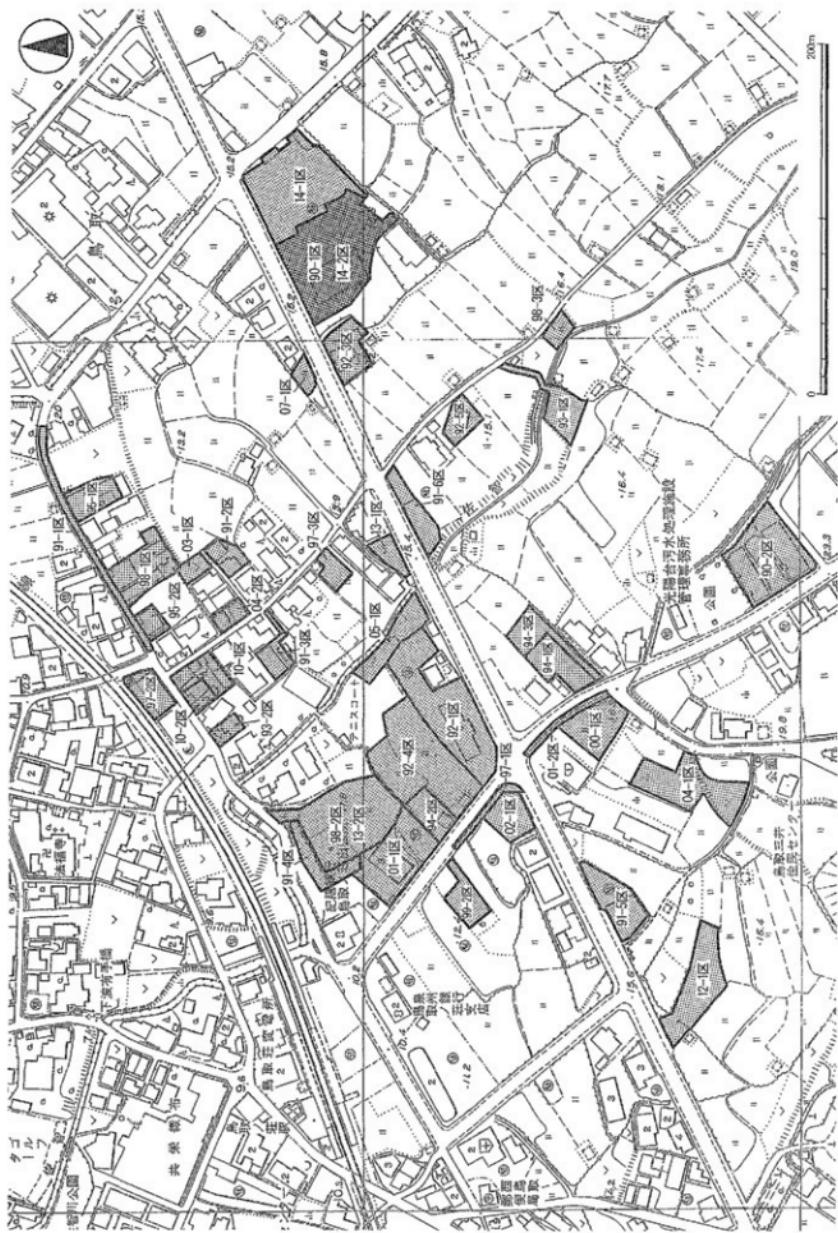
鳥取南遺跡は、市域の中央部を流れる池詰川、佐智川が形成する平野部に位置する。昭和63(1988)年度に阪南町教育委員会(当時)が実施した埋蔵文化財分布調査によって発見、周知された。

本遺跡は、東を黒田南遺跡と神光寺(蓮池)遺跡、北を鳥取遺跡、西を波有手遺跡と西鳥取遺跡に囲まれ、南には和泉山脈から派生した丘陵地帯が広がる。

遺跡内では現在までに45件の調査が行われてきており(第3図・表1)、弥生時代後期から中世期にかけての遺構や遺物、また若干のサヌカイト製石器や縄文土器なども検出されている。ただ、小規模な調査が多く、遺跡の詳細な性格は現在のところ把握されていない。

参考文献

阪南町教育委員会	阪南町埋蔵文化財報告VI	阪南町埋蔵文化財分布調査概要 I	1988年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告X II	阪南市埋蔵文化財調査概要VII	1992年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告X VII	阪南市埋蔵文化財調査概要IX	1994年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告X IX	阪南市埋蔵文化財調査概要X	1995年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告XX I	阪南市埋蔵文化財調査概要X I	1996年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告XX V	阪南市埋蔵文化財調査概要X IV	1999年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告XX VI	阪南市埋蔵文化財調査概要X V	2000年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告35	阪南市埋蔵文化財調査概要XX X	2005年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告39	阪南市埋蔵文化財調査概要XX II	2006年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告42	阪南市埋蔵文化財調査概要XX V	2008年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告48	阪南市埋蔵文化財調査概要XX VIII	2011年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告51	阪南市埋蔵文化財調査概要XX X	2013年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告52	阪南市埋蔵文化財調査概要31	2014年
阪南市教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告53	阪南市埋蔵文化財調査概要32	2015年



第3図 烏取南遺跡既往の調査区位置図

表1 烏取南遺跡既往の調査結果一覧

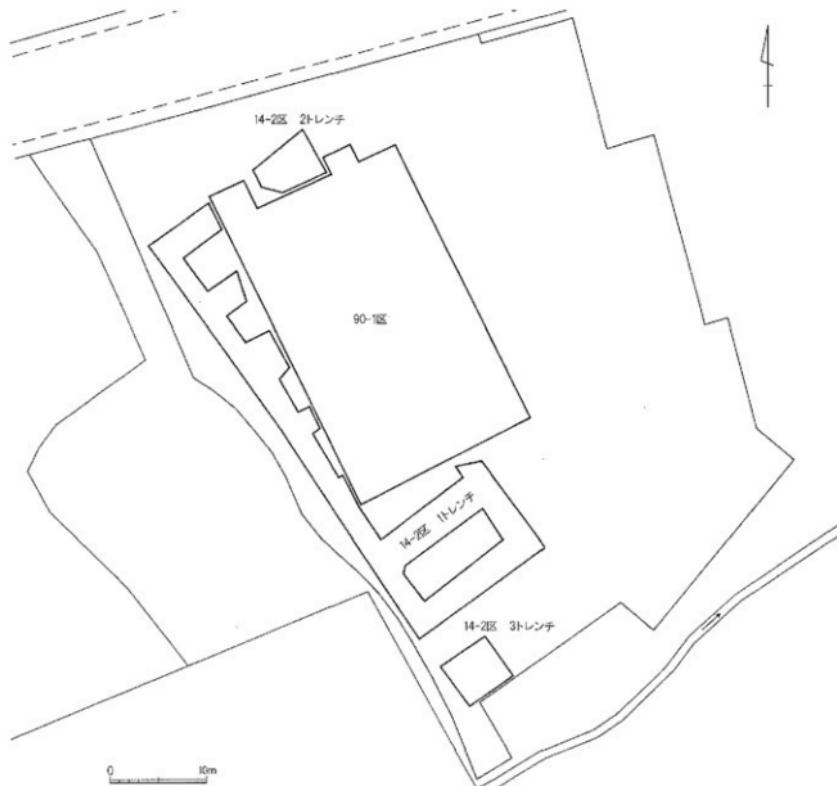
調査区	検出遺構	出土遺物	掲載報告
90-1	本稿	本稿	本稿
90-2			
90-3			
91-1		瓦器、瓦質土器、土師質土器、銷壺、陶器、瓦	
91-2		土師質土器、陶器	阪南市埋蔵文化財報告XII
91-3		須恵器、土師質土器、土師質銷壺、土師質管状土錐、瓦	阪南市埋蔵文化財報告XII
91-4		土師質土器	
91-5			
91-6	溝	弥生土器、土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、銷壺、土師質管状土錐、壁壘、瓦	
92-1	土坑、ピット、溝	サヌカイト、石器、土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、製塙土器、銷壺、土師質管状土錐、陶器、磁器、製品、骨殖、焼土塊	
92-2			
92-3			
92-4	土坑、ピット、溝	サヌカイト、石器、土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、青磁、白磁、陶器、製塙土器、銷壺、土師質管状土錐、瓦、铁製品、片岩	
92-5	ピット	土師器、須恵器、瓦器	阪南市埋蔵文化財報告XIII
93-1	土坑	紙恵器、土師質土器	阪南市埋蔵文化財報告XIV
93-2	溝、ピット	土師器、須恵器、瓦器、土師質管状土錐、燒土塊	阪南市埋蔵文化財報告XIV
94-1	土流	サヌカイト、石器、土師器、須恵器、土師質土器、陶器、瓦	
94-2	土坑	土師器、須恵器、瓦器、瓦質土器、銷壺、土師質管状土錐、磁器、瓦	
94-3		土師器、須恵器	阪南市埋蔵文化財報告XIV
95-1	落ち込み	土師器	阪南市埋蔵文化財報告XXXI
95-2	土坑	土師器、須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、銷壺、土師質管状土錐、瓦、燒土塊	阪南市埋蔵文化財報告XXXI
97-1			
97-2		須恵器、土師質真銷壺	阪南市埋蔵文化財報告XXV
97-3		須恵器、土師質土器、陶器	阪南市埋蔵文化財報告XXV
98-1	井戸	須恵器、土師質土器、陶器、中世瓦	阪南市埋蔵文化財報告XXV
98-2	落ち込み	須恵器、瓦器、土師質土器、須恵質土器、瓦質土器、土師質真銷壺、青磁、鐵釘、燒土塊、チャート	
98-3			阪南市埋蔵文化財報告XXVI
99-1			
99-2		須恵器、土師質土器、製塙土器	阪南市埋蔵文化財報告XXVI
00-1	落ち込み	土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、燒陶器、管状土錐	
01-1	土坑、ピット、溝、落ち込み	サヌカイト、石器、網文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、須恵質土器、土師質土器、瓦質土器、青磁、白磁、陶器、瓦、銅鏡、鍍金鏡、土師質土錐、中世瓦、近世瓦、鐵製品、ササ入り燒土塊、チャート	
01-2		サヌカイト、破石、土師器、須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器、青磁、青花、燒陶器、陶器、製塙土器、高砂壺、中世瓦	
02-1			
03-1	ピット	土師質土器	阪南市埋蔵文化財報告35
04-1		須恵器、瓦器、土師質土器、青磁、スサノオリ燒土塊	
04-2	ピット	土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、製塙土器、銷壺、土錐、土理、銅錢、燒土塊	阪南市埋蔵文化財報告35
05-1	土坑	須恵器、土師質土器、經器	阪南市埋蔵文化財報告39
07-1	ピット、溝	土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、製塙土器、燒土塊	阪南市埋蔵文化財報告42
10-1		土師質土器、瓦質土器、陶器、磁器、近世瓦	阪南市埋蔵文化財報告48
10-2			阪南市埋蔵文化財報告48
12-1	道路	須恵器、瓦器、土師質土器、瓦質土器	阪南市埋蔵文化財報告51
13-1	溝	土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、製塙土器、土師質真銷壺	阪南市埋蔵文化財報告52
13-2	土坑、溝	弥生土器、土師器、須恵器、黑色土器、瓦器、土師質土器、製塙土器、土師質真銷壺、スサ入り燒土塊	阪南市埋蔵文化財報告52
14-1	溝、落ち込み	須恵器、瓦器、土師質土器	阪南市埋蔵文化財報告53
14-2	本稿	本稿	本稿

第2節 調査に至る経過

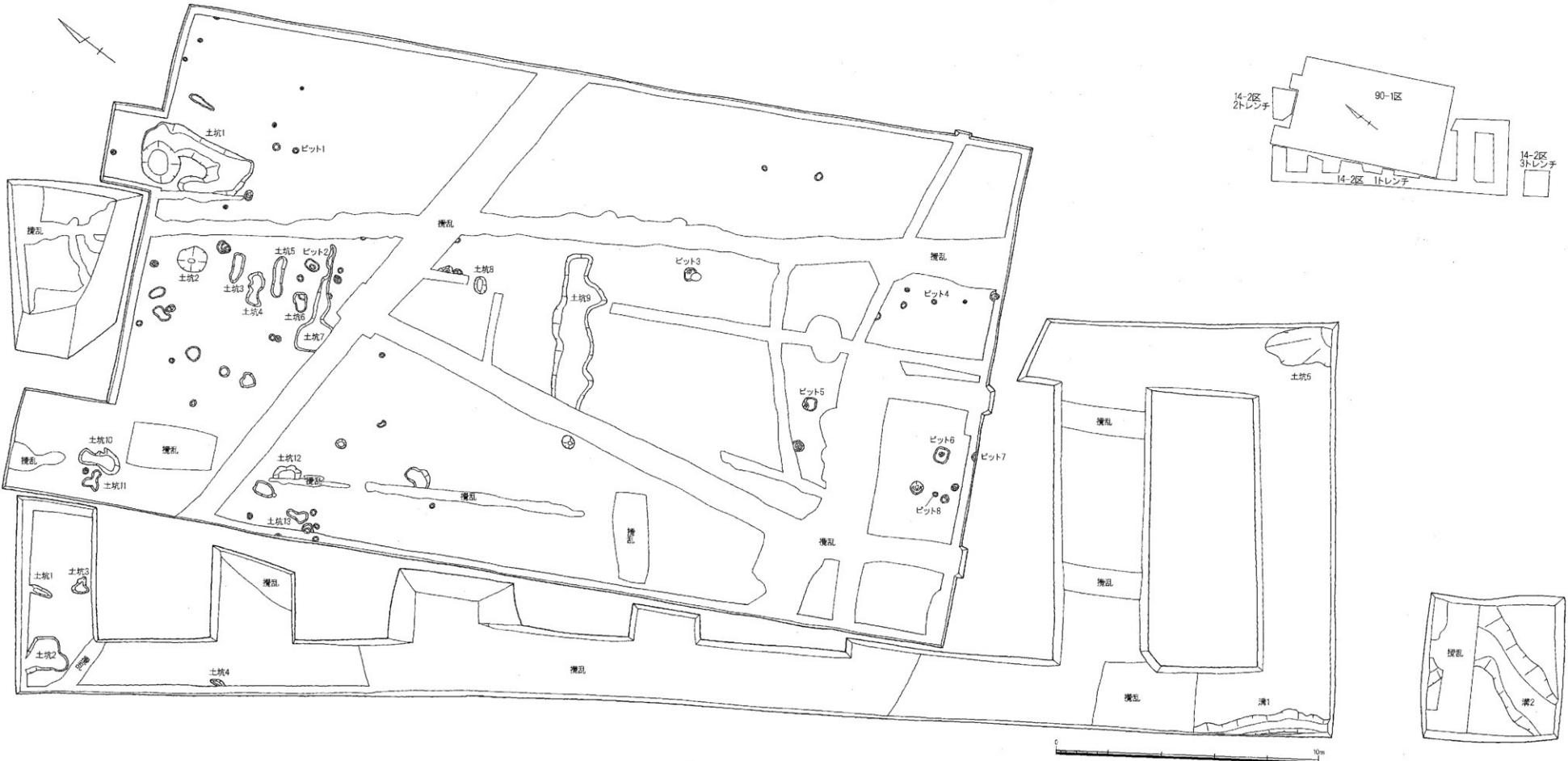
鳥取南遺跡は、昭和63(1988)年度に阪南町教育委員会(当時)が実施した埋蔵文化財分布調査によって発見、周知された遺跡である。

90-1区は鳥取南遺跡の東端部に位置する。かつて工場が建てられていたが、店舗建設の計画が持ち上がり、試掘調査の結果を受け平成2(1990)年度に建物基礎埋設部分の発掘調査を行うこととなった。

14-2区は上記店舗の閉鎖により建物の撤去が行われた後、平成26(2014)年度、同地において新たに店舗が建設されることとなり、再度行った試掘調査の結果、縄文時代晩期から中世期にかけての遺構や遺物を検出したため、90-1区の建物基礎部分と重複しない範囲において新たな建物基礎埋設により影響を受ける部分の本調査を実施するに至った。

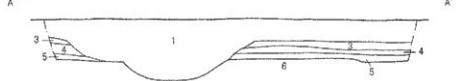


第4図 トレンチ位置図

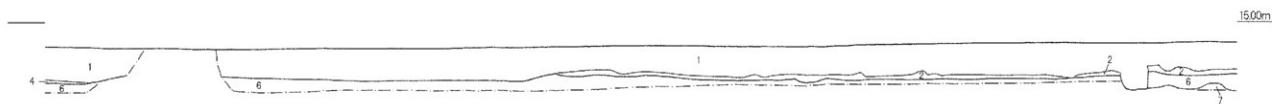
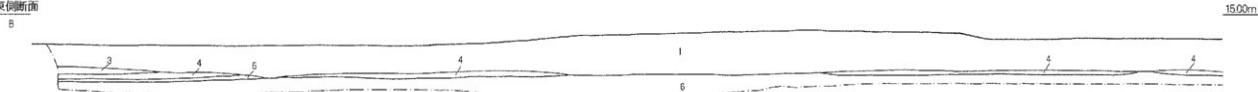


第5図 90-1区・14-2区 トレンチ平面図

北側断面

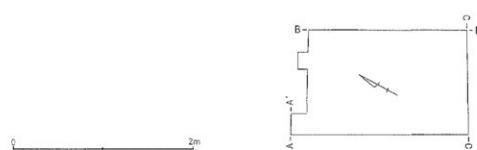


東側断面



- 1 成土
- 2 植生土
- 3 10%6/8 初実褐色砂質土
- 4 25%6/8 鮮灰褐色土
- 5 EVS.5.2リープ色砂質土
- 6 地山:SV3/4 混合砂質土(マンガニン)
- 7 r : 10%6/4 混色粘土土
- 8 SV6/3 に1/4-1/2色砂質土
- 9 SP4/1 褐灰褐色土
- 10 M4%1 疏散灰褐色土

南側断面



第6図 90-1区 トレング断面図

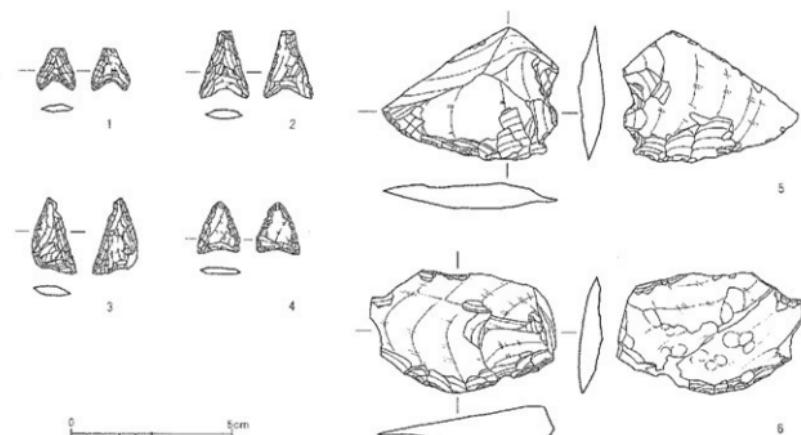
第2章 調査の成果

第1節 90-1区(第4~7図)

調査区は鳥取南遺跡の東端部に位置する。当地における商業施設建設に先立つ試掘調査の結果を受け、建物基礎埋設部分にあたる653.40m²の発掘調査を行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層10YR6/8明黄褐色砂質土、第4層2.5Y6/1黄灰色土、第5層5Y5/6オリーブ色粘質土、第6層5Y8/4淡黄色粘質土(マンガン混)、第7層10YR4/4褐色粘土で、第6層以下は地山である。地山はT.P.+14.30m~T.P.+14.70mで検出した。

遺物はサヌカイト、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶器、磁器等、縄文時代から近世期にかけての遺物が出土した。調査区は広範囲において既設建物の基礎敷設による攪乱や削平を受けており、明確な遺物包含層は特定できなかったが、サヌカイト製石器については掲載する。1~4は凹基無茎式石鏸で、1・2は先端部が欠損している。3・4は基部の抉りが浅い。5・6はスクレイパーで、6は一部に原礫面をとどめる。



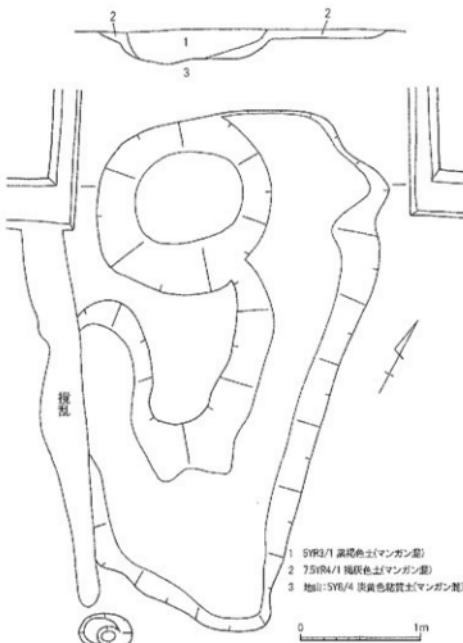
第7図 90-1区 包含層出土遺物

遺構は全て地山面で検出した。

15.00m

土坑1(第5・8・9図)

トレンチ北部で検出した不定形の土坑である。東西2.46m、南北4.32m、深さ0.34mで、南西部は擾乱により切られていた。埋土は上層が5YR3/1黒褐色土(マンガン混)、下層が7.5YR4/1褐灰色土(マンガン混)である。遺物は上層から縄文土器、弥生土器、土師器、下層から弥生土器、土師器が出土した。古墳時代の土坑と思われる。7~10は上層からの出土で、7~9は弥生土器。7は壺で、口縁端部にわずかに櫛描簾状文が残る。8は壺、9は甕の底部である。10は土師器の甕の口縁部。11~20は下層からの出土で、11はサヌカイト製の石槍の一部、12~17は弥生土器で、12~15は壺、16・17は甕。18~20は土師器の甕で、20は体部外面にハケ目がわずかに残り、一部には煤の付着がみられる。



第8図 90-1区 土坑1平面・断面図

土坑2(第5・10図)

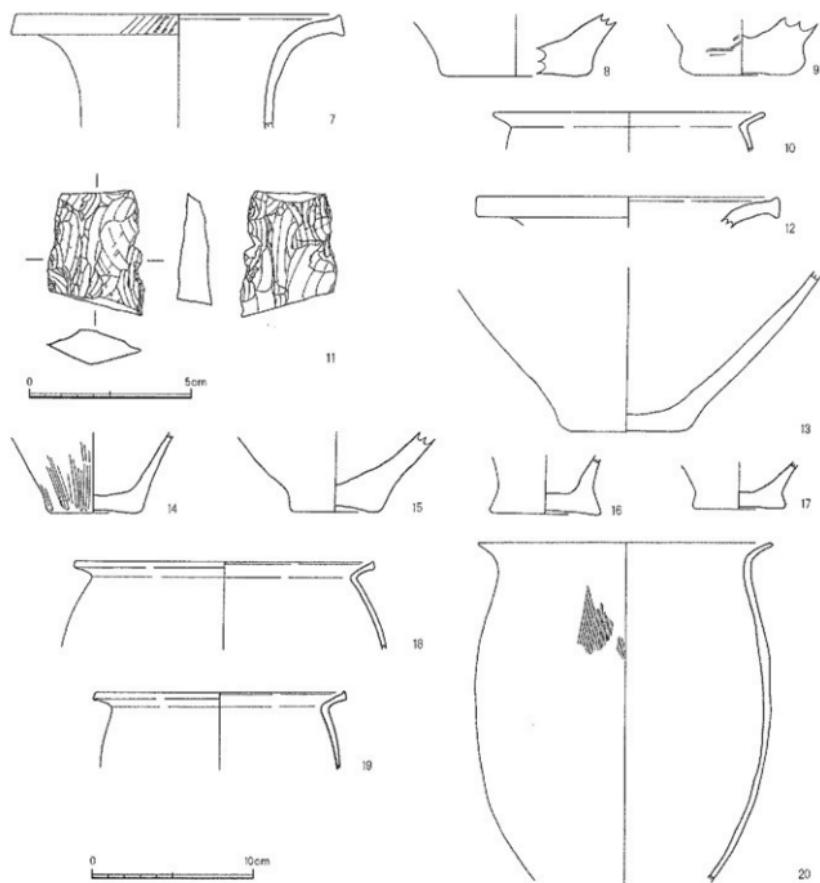
トレンチ北部で検出したほぼ円形の土坑である。東西1.02m、南北1.08m、深さ0.26mを測る。埋土は2.5Y6/2灰黄色土(マンガン混)で、弥生土器が出土した。弥生時代の土坑と考えられる。

土坑3(第5図)

トレンチ北部で検出した梢円形の土坑で、東西1.26m、南北0.44m、深さ0.04mを測る。埋土は5YR6/3にぶい橙色砂質土で、黑色土器、土師質土器が出土した。中世期の土坑である。

土坑4(第5図)

トレンチ北部で検出した不定形の土坑で、東西1.30m、南北0.63m、深さ0.07mを測る。埋土は5YR6/3にぶい橙色砂質土で、須恵器、瓦器、土師質土器が出土した。中世期の土坑である。



第9図 90-1区 土坑1出土遺物

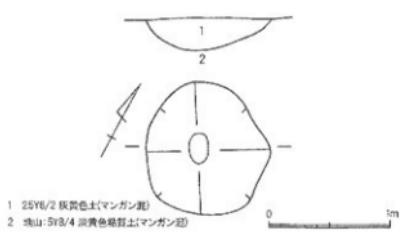
15.00m

土坑5(第5図)

トレンチ北部で検出した楕円形の土坑で、東西1.62m、南北0.42m、深さ0.08mを測る。埋土は5YR6/3にぶい橙色砂質土で、弥生土器、土師質土器が出土した。中世期の土坑である。

土坑6(第5図)

トレンチ北部で検出した不定形の土坑で、



第10図 90-1区 土坑2平面・断面図

東西0.75m、南北0.52m、深さ0.09mを測る。遺物は検出されなかったが、埋土が5YR6/3にぶい橙色砂質土であり、中世期の土坑と考えられる。

土坑7(第5図)

トレント北部で検出した不定形の土坑で、南部を攪乱に切られている。東西4.20m、南北1.20m以上、深さ0.05mを測り、埋土は5YR6/3にぶい橙色砂質土である。弥生土器、須恵器、瓦器が出土した。中世期の土坑である。

土坑8(第5・11図)

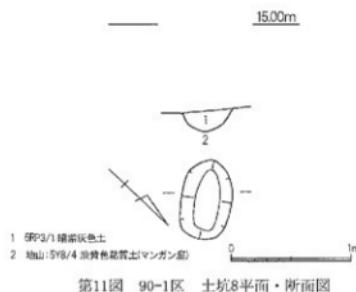
トレント中央部で検出した楕円形の土坑である。東西0.65m、南北0.42m、深さ0.17mを測り、埋土は5RP3/1暗紫灰色土である。遺物は出土しなかったが、後述するピット4等と同じ埋土のため、中世期の土坑と考えられる。

土坑9(第5・12図)

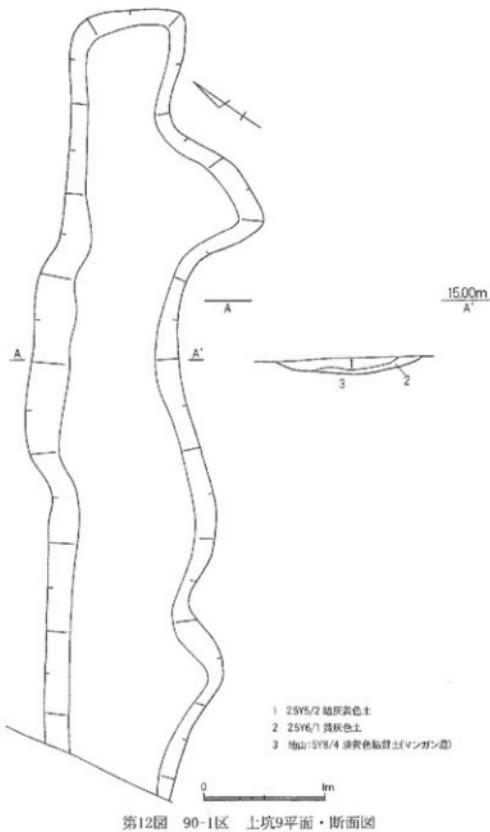
トレント中央部で検出した不定形の土坑で、西部を攪乱に切られている。東西6.20m以上、南北1.65m、深さ0.14mを測る。埋土は上層が2.5Y5/2暗灰黄色土、下層が2.5Y6/1黄灰色土で、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、中世瓦、スサ入り焼土塊が出土した。中世期の土坑と考えられる。

土坑10(第5・13図)

トレント北西部で検出した不定形



第11図 90-1区 土坑8平面・断面図



第12図 90-1区 土坑9平面・断面図

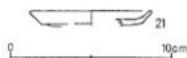
の土坑である。東西0.82m、南北1.58m、深さ0.12mを測り、埋土は5Y6/1灰色粘質土である。出土遺物は須恵器のみだが、同じ埋土である土坑11で土師質土器等が出土しており、中世期の土坑と考えられる。

土坑11(第5・13・14図)

トレンチ北西部で検出した不定形の土坑である。東西0.88m、南北0.63m、深さ0.08mを測り、埋土は5Y6/1灰色粘質土である。遺物は、サヌカイト、弥生土器、土師質土器が出土した。21は土師質小皿で、いわゆる白土器である。中世期の土坑である。



第13図 90-1区 土坑10・11平面・断面図



第14図 90-1区 土坑11出土遺物

土坑12(第5図)

トレンチ西部で検出した楕円形の土坑で、南西部を攪乱に切られている。東西0.52m以上、南北1.05m、深さ0.12mを測る。埋土は5Y6/1灰色粘質土で、サヌカイト、弥生土器、須恵器、土師質土器が出土した。中世期の土坑である。

土坑13(第5図)

トレンチ西部で検出した不定形の土坑である。東西0.50m、南北0.82m、深さ0.06mを測る。埋土は5Y6/1灰色粘質土で、サヌカイトを検出したのみだが、埋土から中世期の土坑と考えられる。

ピット1(第5図)

トレンチ北部で検出した。直径0.21m、深さ0.28mを測る。埋土は5RP3/1暗紫灰色土で弥生土器が出土したが、埋土が同じ他のピットから中世期の遺物が出土しており、中世期の遺構と考えられる。

ピット2(第5図)

トレンチ北部で検出した。直径0.50m、深さ0.21mを測る。埋土は上層が5P4/1暗紫灰色土、下層が5RP3/1暗紫灰色土で、弥生土器、須恵器、中世期の土師質真蛸壺が出土した。中世期の遺構である。

ピット3(第5図)

トレンチ中央部で検出した。直径0.55m、深さ0.08mで、南部は攪乱に切られている。埋土は7.5YR6/1褐灰色土で、瓦器が出土した。中世期の遺構である。

ピット4(第5図)

トレンチ南部で検出した。直径0.18m、深さ0.04mで、埋土は5RP3/1暗紫灰色土である。遺物は出土しなかったが、埋土から中世期の遺構と考えられる。

ピット5(第5図)

トレンチ南部で検出した。直径0.50m、深さ0.19mで、埋土は上層が5P4/1暗紫灰色土、下層が5RP3/1暗紫灰色土である。土師質土器が出土した。中世期の遺構である。

ピット6(第5図)

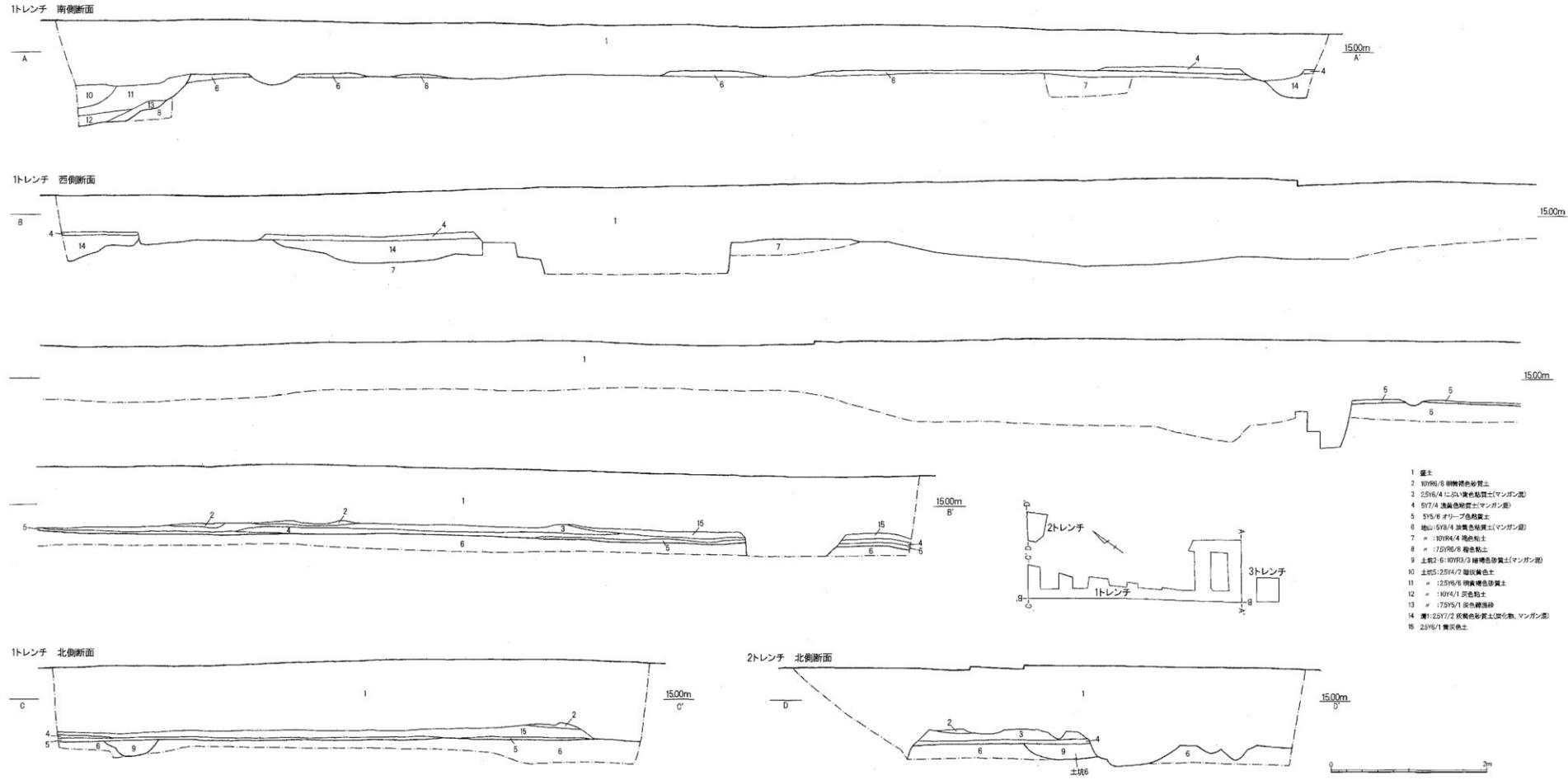
トレンチ南部で検出した。直径0.55m、深さ0.26mで、埋土は上層が5P4/1暗紫灰色土、下層が5RP3/1暗紫灰色土である。遺物は弥生土器が出土したのみだが、埋土から中世期の遺構と考えられる。

ピット7(第5図)

トレンチ南端で検出した。直径0.50m、深さ0.13mを測り、南部はトレンチ外へ広がる。埋土は上層が5P4/1暗紫灰色土、下層が5RP3/1暗紫灰色土である。遺物は土師質土器が出土した。中世期の遺構である。

ピット8(第5図)

トレンチ南部で検出した。直径0.18m、深さ0.22mを測り、埋土は7.5YR6/1褐灰色土である。遺物は弥生土器が出土したのみであるが、埋土から中世期の遺構と考えられる。



第15図 14-2区 1・2トレンチ断面図

第2節 14-2区(第4・5・15・16図)

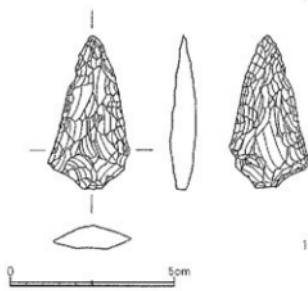
調査区は90-1区の再開発にあたる。当報告の1トレンチ北端部と、2・3トレンチは試掘調査部分である。

本書では、試掘調査と本調査を併せて報告する。

基本層序は第1層盛土、第2層10YR6/8明黄褐色砂質土、第3層2.5Y6/4にぶい黄色粘質土(マンガン混)、第4層5Y7/4浅黄色粘質土(マンガン混)、第5層5Y5/6オリーブ色粘質土、第6層5Y8/4淡黄色粘質土(マンガン混)、第7層10YR4/4褐色粘土、第8層7.5YR6/8橙色粘土で、第6層以下は地山である。地山はT.P. +14.50m～T.P. +14.70mで検出した。

1トレンチの北部は第3層がなく、第2層と第4層の間に2.5Y6/1黄灰色土が存在する。中央部より南では第2・3層および第5層がなく、また旧建物の基礎埋設及び撤去に伴う攪乱を受けており、広範囲で包含層が存在しない。2トレンチは第5層が存在せず、3トレンチはトレンチ全体が建物の基礎埋設による攪乱を受け、包含層は存在しなかった。

遺物は、第2層から須恵器、土師質土器、第3層からサヌカイト、土師器、須恵器、瓦器、須恵質土器、土師質土器、焼締陶器、土師質真蛸壺、鉄滓、第4層から須恵器、瓦器、土師質土器、製塩土器、中世瓦、第5層からサヌカイト、須恵器、瓦器、土師質土器、2.5Y6/1黄灰色土層から須恵器、土師質土器、瓦器、製塩土器が出土した。第2層以下は全て中世期の層と考えられる。1は第3層から出土した縄文時代草創期のサヌカイト製の有茎尖頭器である。

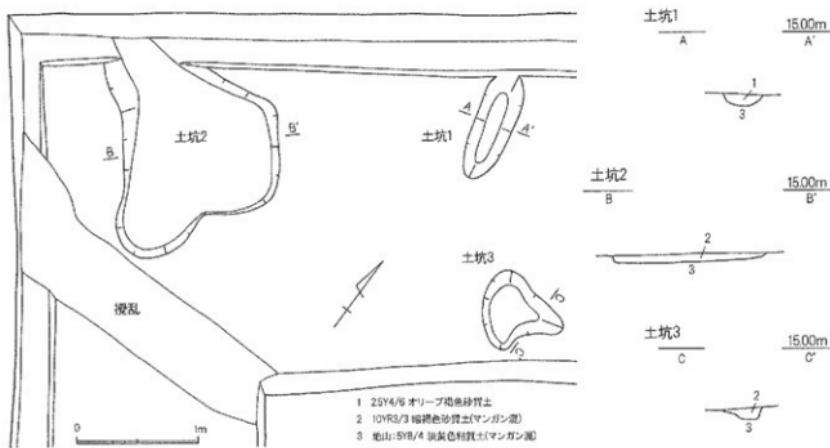


第16図 14-2区 第3層出土遺物

遺構は地山面で土坑6基と溝2条を検出した。

土坑1(第5・17図)

1トレンチ北端で検出した。東西0.32m、南北0.90m以上、深さ0.10mの楕円形の土坑である。埋土は2.5Y4/6オリーブ褐色砂質土で、サヌカイト、瓦器、土師質土器が出土した。中世期の土坑と考えられる。



第17図 14-2区 土坑1・2・3平面・断面図

土坑2(第5・15・17・18図)

1トレンチ北部で検出した。東西1.90m以上、南北1.68m、深さ0.07mの不定形で、北西部はトレンチ外に広がる。埋土は10YR3/3暗褐色砂質土(マンガン混)で、縄文土器、弥生土器が出土した。弥生時代の土坑と考えられる。2は弥生土器蓋の底部である。

土坑3(第5・17図)

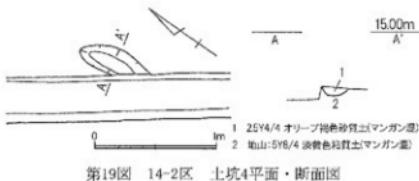
1トレンチ北部で検出した。東西0.70m、南北0.62m、深さ0.10mの不定形の土坑で、埋土は10YR3/3暗褐色砂質土(マンガン混)であった。遺物は出土しなかったが、土坑2と同じ埋土のため、弥生時代の土坑と考えられる。



第18図 14-2区 土坑2出土遺物

土坑4(第5・19図)

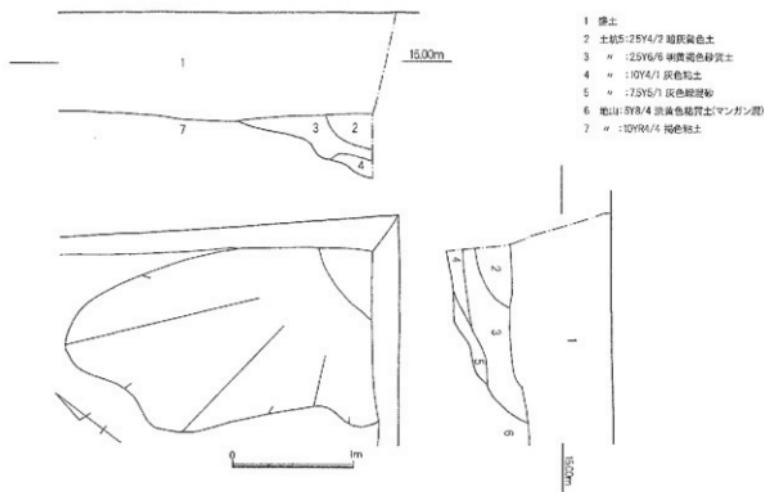
1トレンチで検出した。東西0.22m、南北0.60m以上、深さ0.08mの楕円形の土坑で、埋土は2.5Y4/4オリーブ褐色砂質土(マンガン混)であった。遺物は出土せず、時代は不明である。



第19図 14-2区 土坑4平面・断面図

土坑5(第5・15・20図)

1トレンチ南東端で検出した。東西2.25m以上、南北1.85m以上、深さ0.67mでトレンチ外に広がっている。埋土は上層から2.5Y4/2暗灰黄色土、2.5Y6/6明黄褐色砂質土、10Y4/1灰色粘土、7.5Y5/1灰色礫混砂で、埋土から後述の3トレンチで検出した溝2の続きの可能性も考えられる。遺物は出土しなかった。



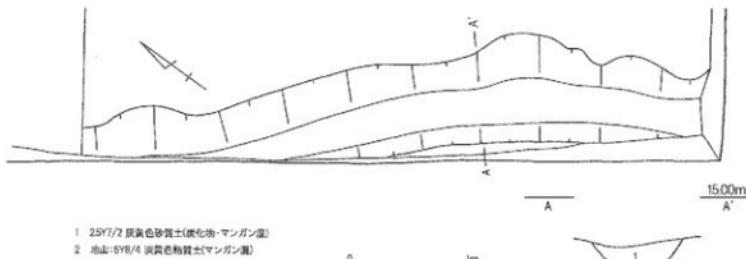
第20図 14-2区 土坑5平面・断面図

土坑6(第5・15図)

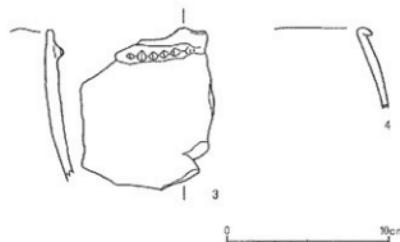
2トレンチの北側断面で検出した。深さ0.20mを測るが、トレンチ内での検出がわずかだったので規模は不明である。埋土は10YR3/3暗褐色砂質土(マンガン混)で、遺物の出土はなかったが、土坑2・3と同一の埋土であるため、弥生時代の土坑と考えられる。

溝1(第5・15・21・22図)

1トレンチの南西端で検出した。長さ5.08m以上、幅0.88m、深さは最深部で0.32mを測る南北方向の溝である。埋土は2.5Y7/2灰黄色砂質土(マンガン混)で、炭化物を多く含んでいた。サヌカイト、縄文土器が出土し、縄文時代晚期の溝と考えられる。3は縄文土器深鉢。口縁部は波状を呈し、口縁直下にはV字刻の貼り付け凸帯が見られる。4も縄文土器深鉢で、縄文時代晩期末の長原式と思われる。



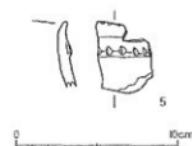
第21図 14-2区 溝1平面・断面図



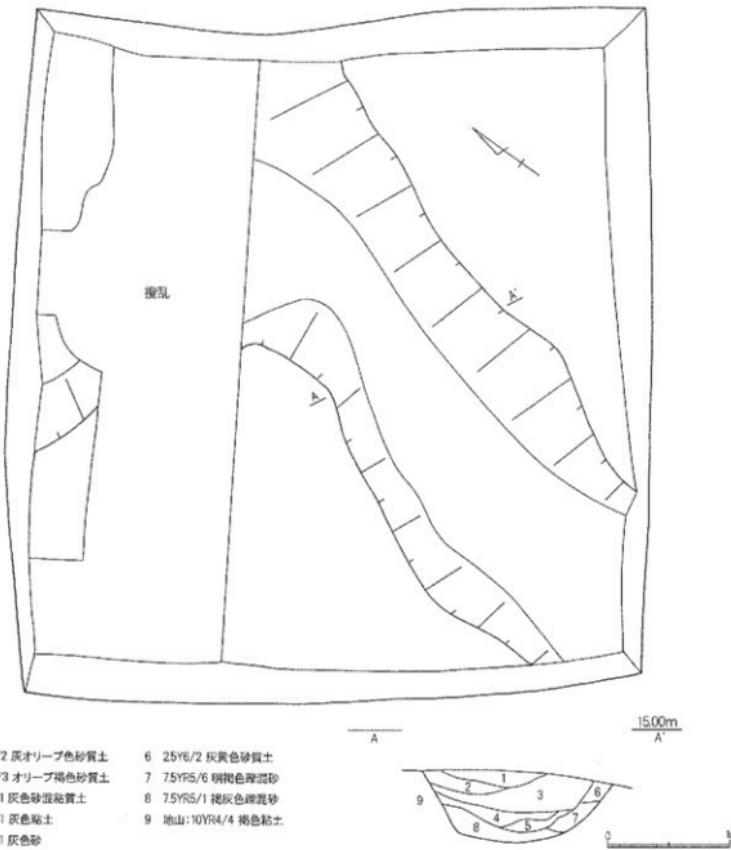
第22図 14-2区 溝1出土遺物

溝2(第5・23・24図)

3トレンチで検出した。長さ6.80m以上、幅2.00m以上、深さ0.70mの南北方向の溝である。埋土は砂質土、粘質土、粘土、砂、礫が堆積していた。サヌカイト、縄文土器、弥生土器、須恵器、瓦器、土師質土器が出土した。中世期の溝と思われる。5は縄文土器深鉢。口縁端部にD字刻、口縁直下にD字刻の貼り付け凸帯が見られる。



第24図 14-2区 溝2出土遺物



第23図 14-2区 溝2平面・断面図

第3章　まとめ

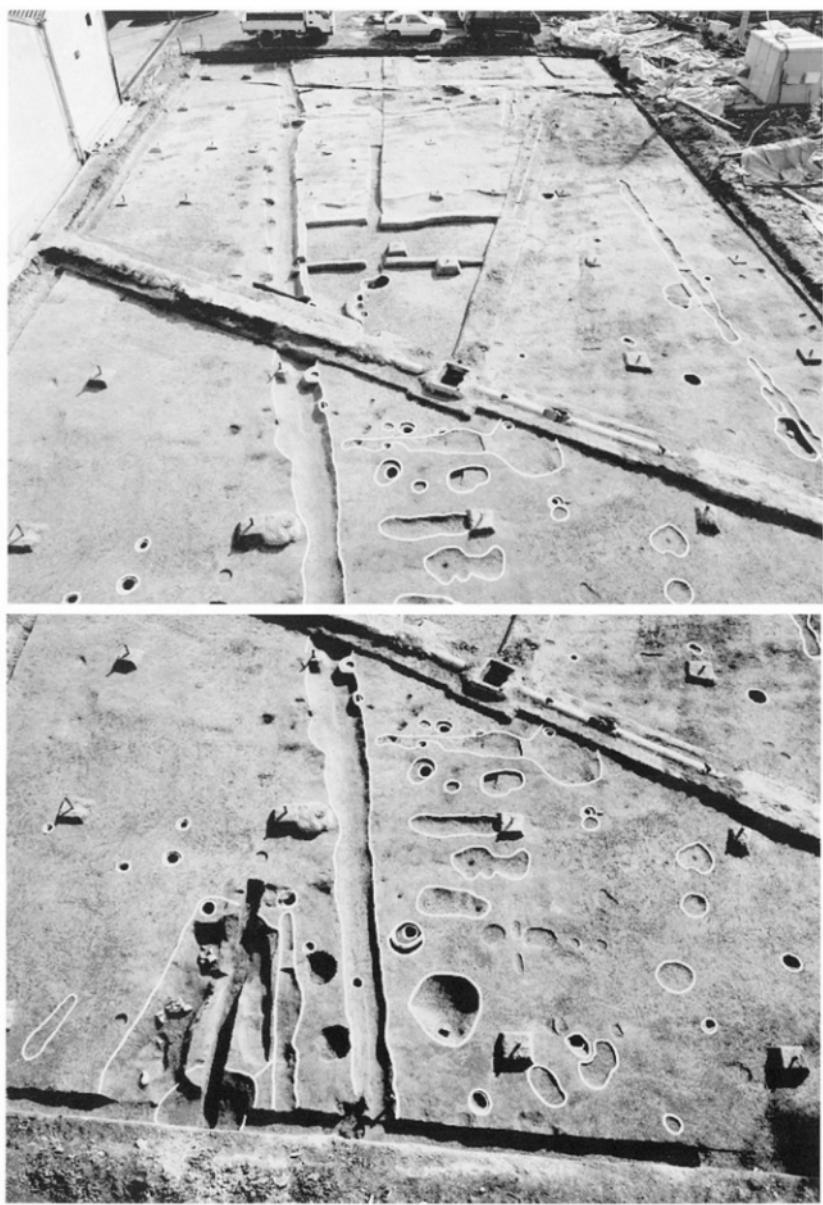
当調査区における二度の発掘により、面的な調査を行うことができた。

周辺の調査で中世期の包含層が検出されており、予想されていた通り、当調査区においても確認された包含層は全て中世期のものであった。ただ、既設建物に関わる掘削による擾乱を受けており、南部では広範囲で包含層が確認できなかったことが残念である。

地山面で検出した遺構は大半が中世期のものであったが、弥生時代～古墳時代とみられる土坑も検出できた。特筆すべき点として、縄文時代晩期末とみられる土器が出土した溝の検出が挙げられる。また遺構は伴わないものの、縄文時代草創期のサヌカイト製有茎尖頭器も出土している。当遺跡の東側に隣接している神光寺(蓮池)遺跡でも同時代のサヌカイト製有茎尖頭器が採取されていることもあり、今後も当遺跡内から縄文時代の遺構や遺物の検出が期待される。

報告書抄録

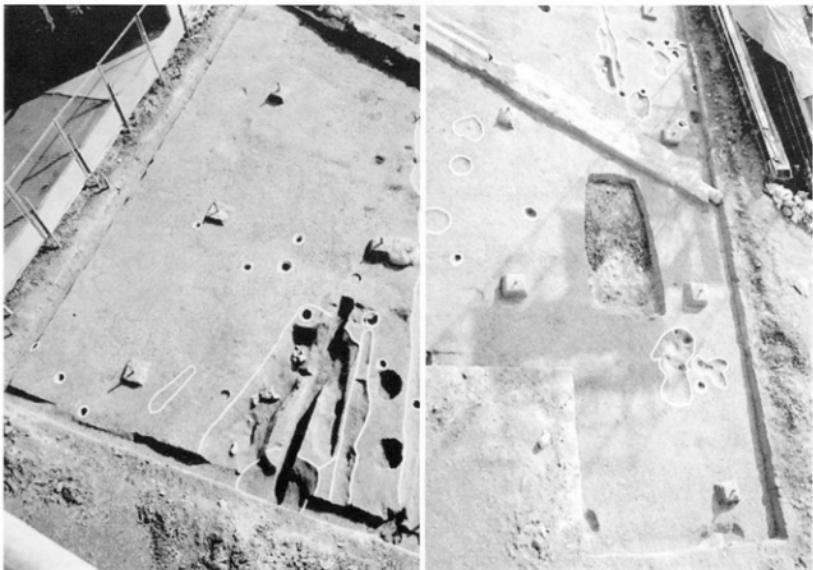
ふりがな	とつとりみなみいせきはくつちょうさほうこくしょ						
書名	鳥取南遺跡発掘調査報告書						
副書名	90-1区・14-2区						
卷次							
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告						
シリーズ番号	55						
編著者名	田中早苗・上野仁・須崎雄一朗・三好義三						
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進室						
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678						
発行年月日	2016年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 番号	北緯 。〃	東經 。〃	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
とつとり 鳥取南	とつとり 鳥取	27232	55	34 20 53	19901113 ～ 1227	653.40	記録保存 調査
とつとり 鳥取南	とつとり 鳥取	27232	55	34 20 52	20150106 ～ 0129	650.18	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項
鳥取南	散布地	弥生～ 中世期	土坑、 ピット	サヌカイト、縄文土器、弥生土器、 上師器、須恵器、黒色土器、瓦器、 上師質土器、上師質真蛸壺、中世瓦、 スサ入り焼土塊			
鳥取南	散布地	弥生～ 中世期	土坑、溝	サヌカイト、縄文土器、弥生土器、 上師器、須恵器、瓦器、須恵質土器、 上師質土器、製塗土器、焼結陶器、 上師質真蛸壺、中世瓦、鉄滓			



トレンチ全景(北より)



トレンチ南部(西より)



トレンチ北部(北より)



土坑1(北より)



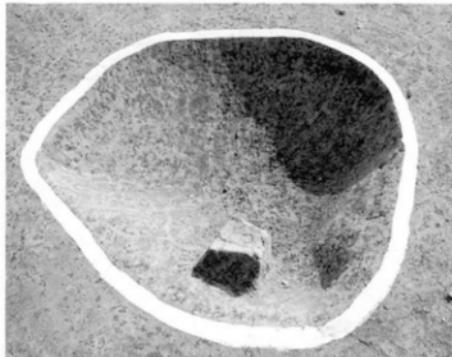
土坑1 遺物出土状況(東より)



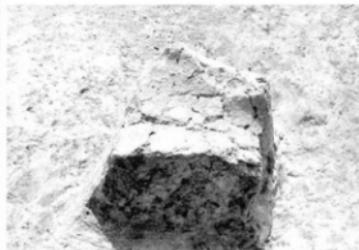
土坑1 遺物出土状況(西より)



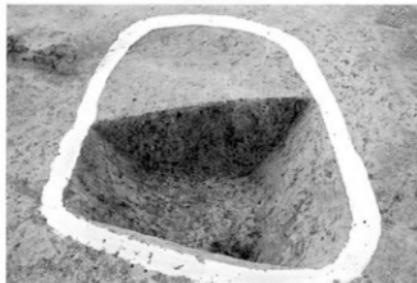
土坑1 南側断面



土坑2(南より)



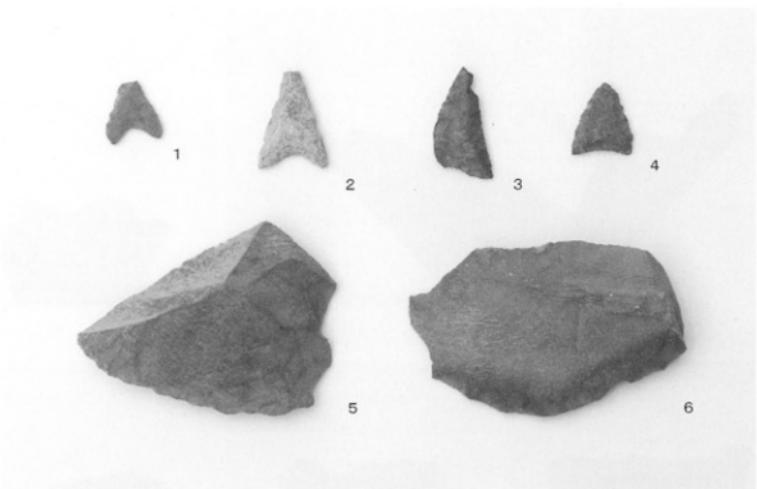
土坑2 遺物出土状況(南より)



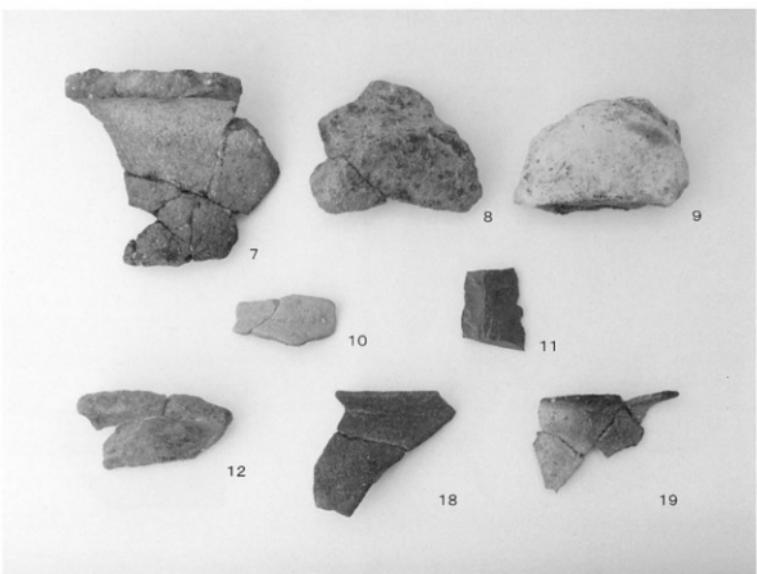
土坑8 南側断面



土坑10 北側断面



包含層 出土遺物



土坑1 出土遺物



13



14



15



16



17

土坑1 出土遺物



20

土坑1 出土遺物



21

土坑11 出土遺物



1トレンチ全景(南より)



1トレンチ北部(西より)



1トレンチ西部(南より)



1トレンチ南部(東より)



1トレンチ東部(南より)



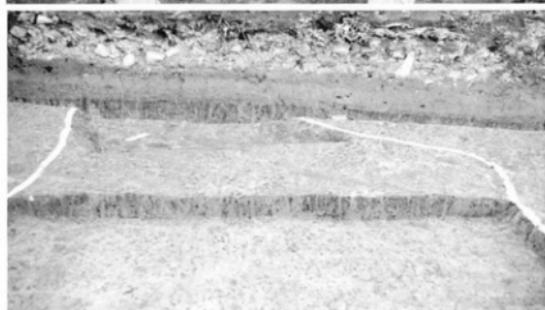
2トレンチ全景(南より)



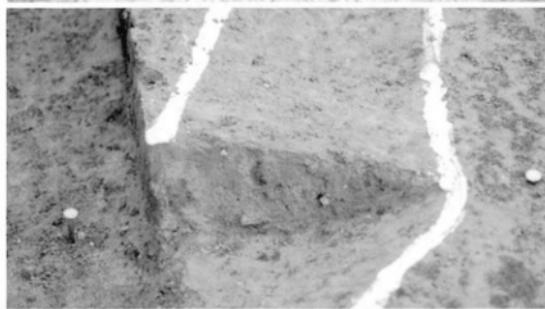
3トレンチ全景(南より)



1トレンチ
土坑1 北側断面



1トレンチ
土坑2 北側断面



1トレンチ
土坑4 北側断面



1トレンチ
土坑5 南側断面



1トレンチ
溝1(南より)



3トレンチ
溝2(西より)



3トレンチ
溝2 東側断面



1



2

第3層 出土遺物

土坑2 出土遺物



3



4

溝1 出土遺物



5

溝2 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 55

鳥取南遺跡発掘調査報告書

90-1区・14-2区

2016年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習部

生涯学習推進室

大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷者：株式会社 蒂谷印刷所